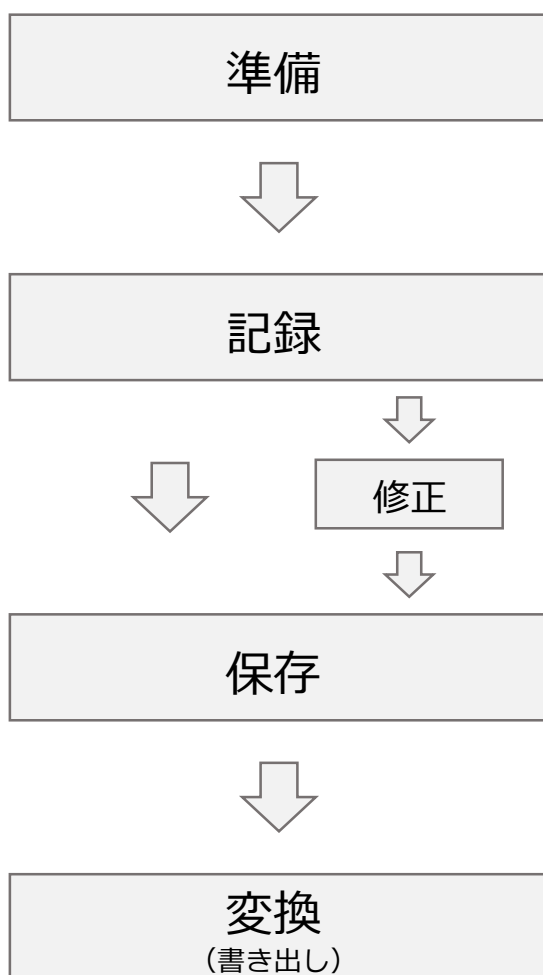
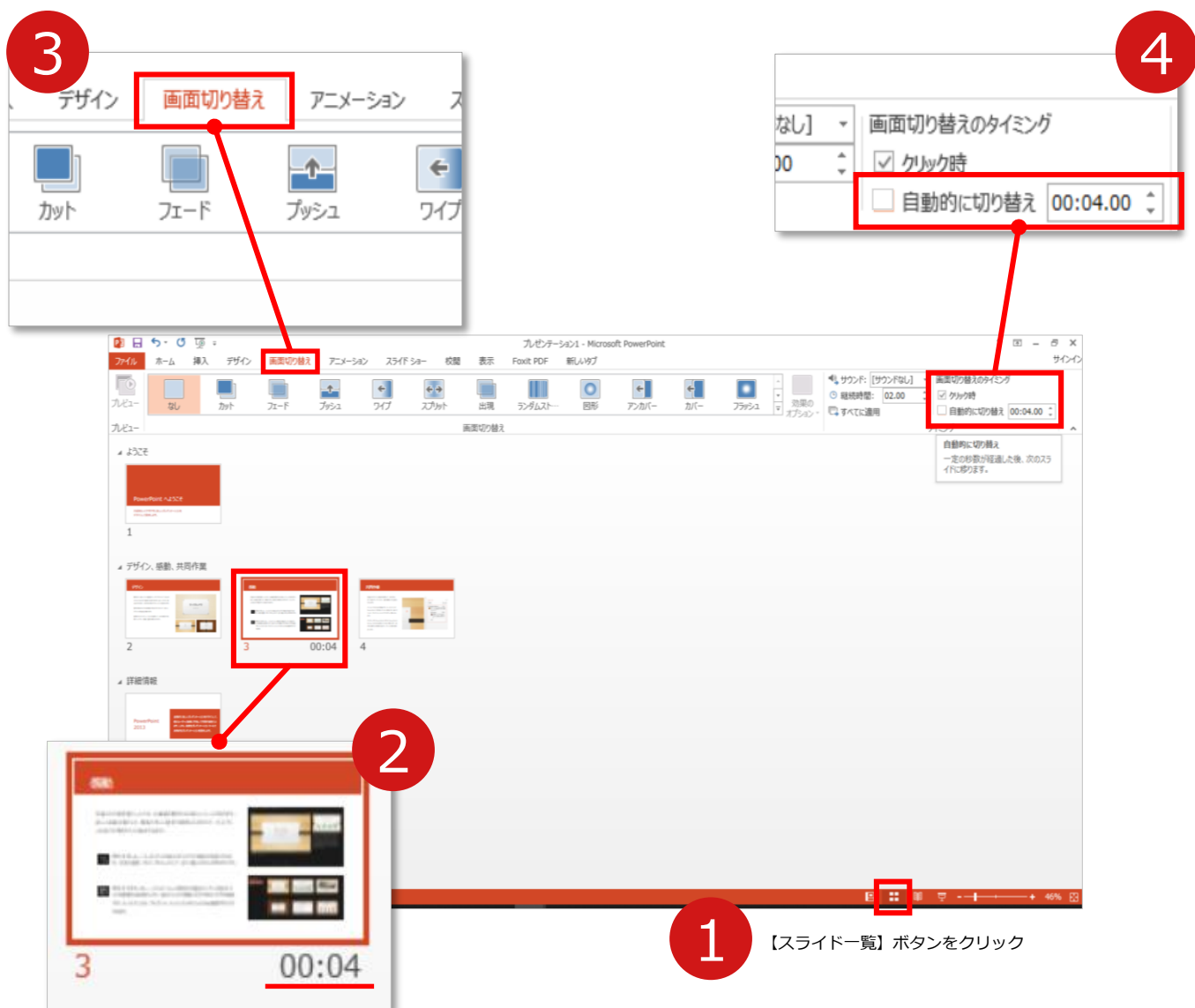


# 演題動画作成マニュアル（音声有り）

PowerPoint 2019  
Microsoft 365 (Office365)

ナレーション動画の作成は以下の手順です。





1 録音の前にPowerPointを【スライド一覧】で表示します。

2 スライドの下に秒数が入っていないか確認してください。

秒数が入っている場合は…

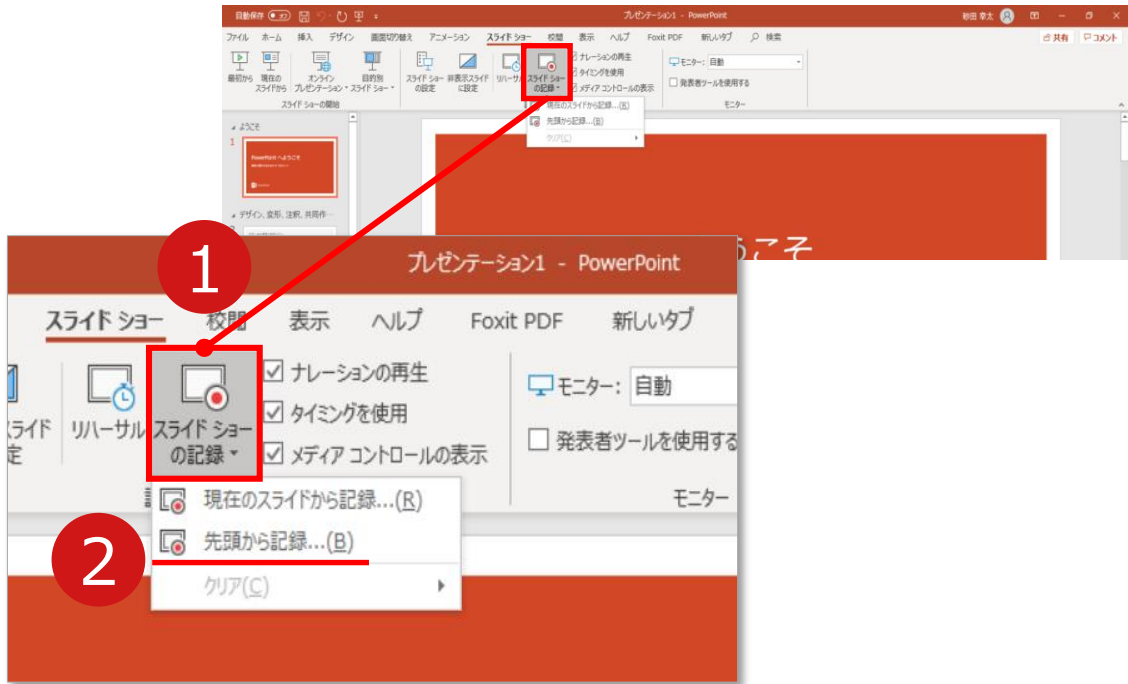
3 リボンの【画面の切り替え】をクリック

4 【画面の切り替えのタイミング】 → 【自動的に切り替え】の  
チェックを外してください。



OSやPowerPointのバージョンによって表示が異なる場合がございます。

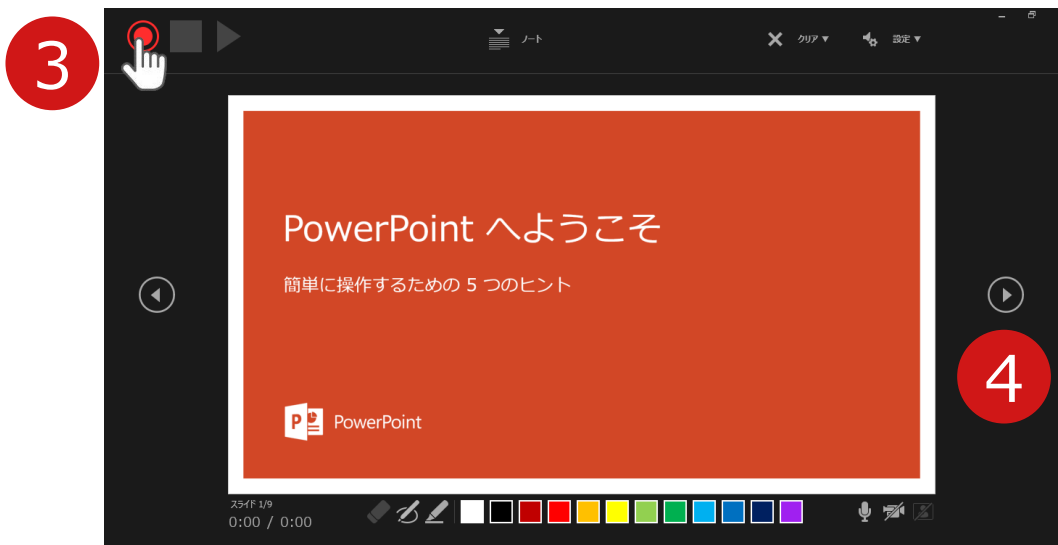
# 記録（開始①）



- ① リボンの【スライドショー】 → 【スライドショーの記録】 をクリック
- ② 【先頭から記録】 を選択したら記録画面に進んでください。

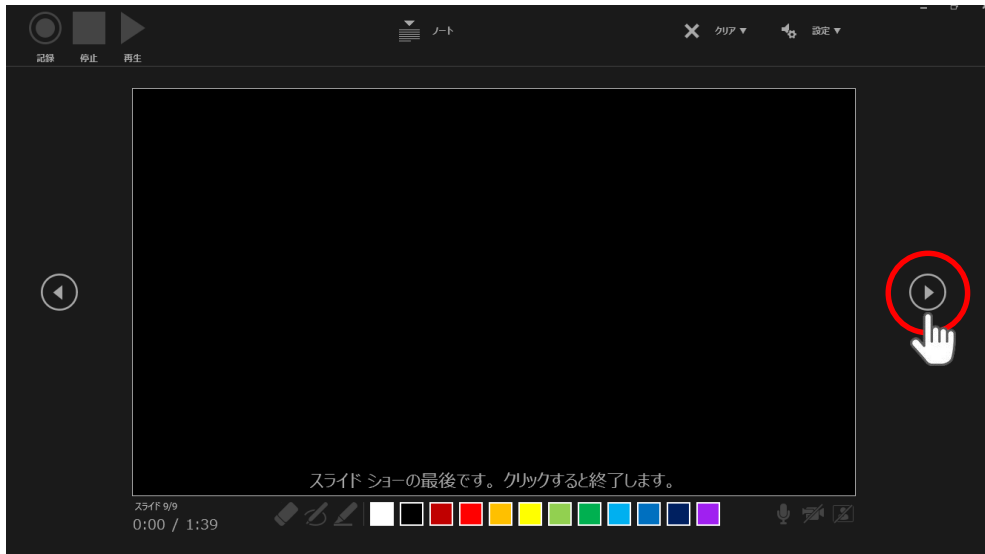


【先頭から録画】 をクリックすると、録画スタンバイになります。



- ③ 【● 記録ボタン】 を押し、録音を開始してください。
- ④ スライドは録音に合わせて任意のタイミングで ▶ 進めてください。

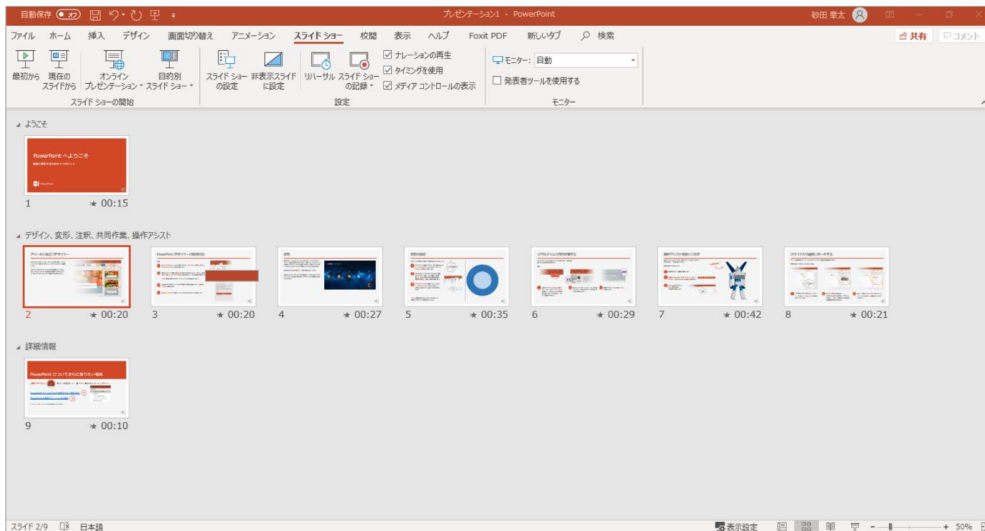
❗ マウスカーソルは、記録されません。【Ctrl+L】を押して【レーザーポインターモード】をご使用ください。  
レーザーポインターではスライド送り、動画のクリックはできません。



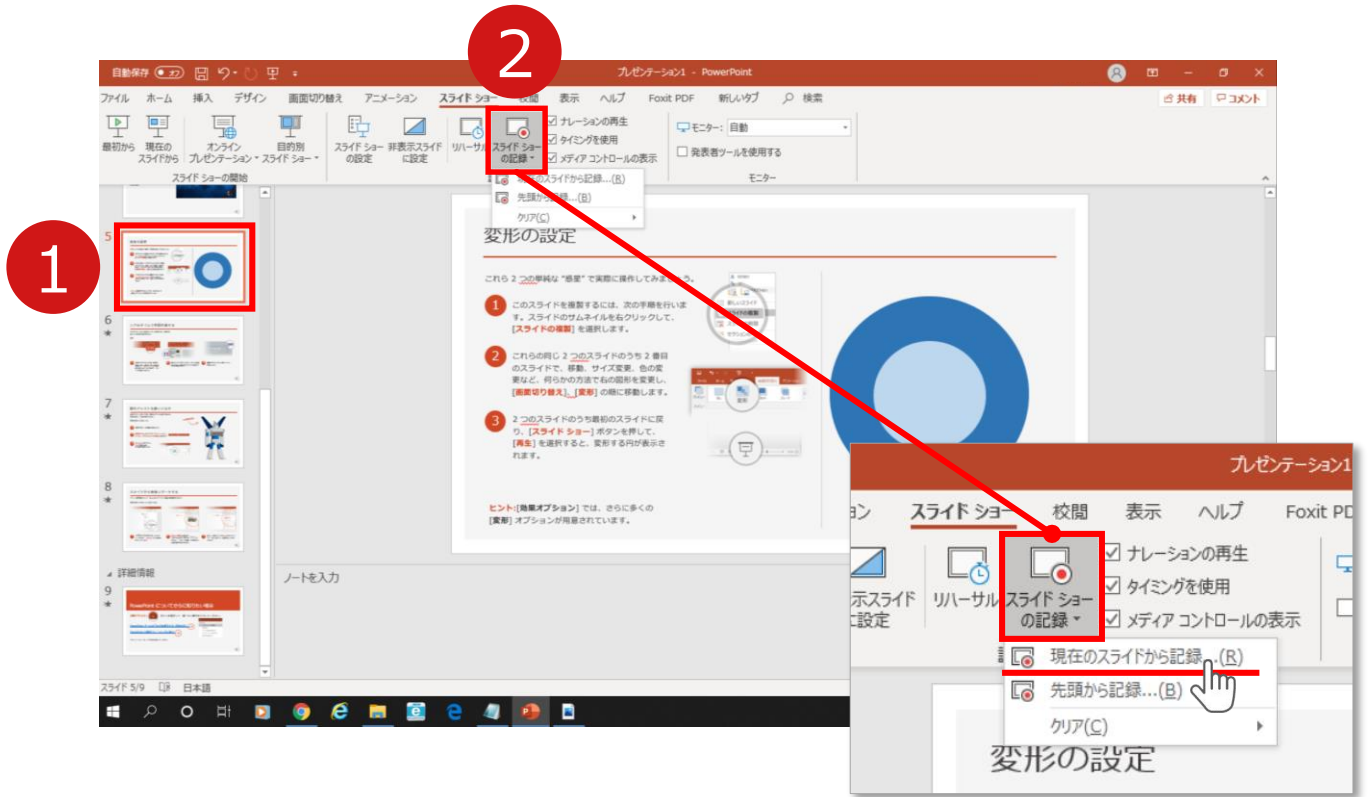
最後まで進めると自動的に録画が停止になり



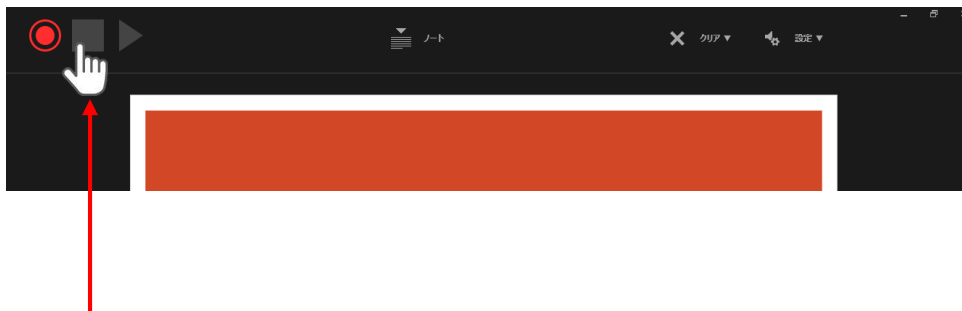
▶ ボタンでもう1枚進めると**スライダー一覧**に戻ります。



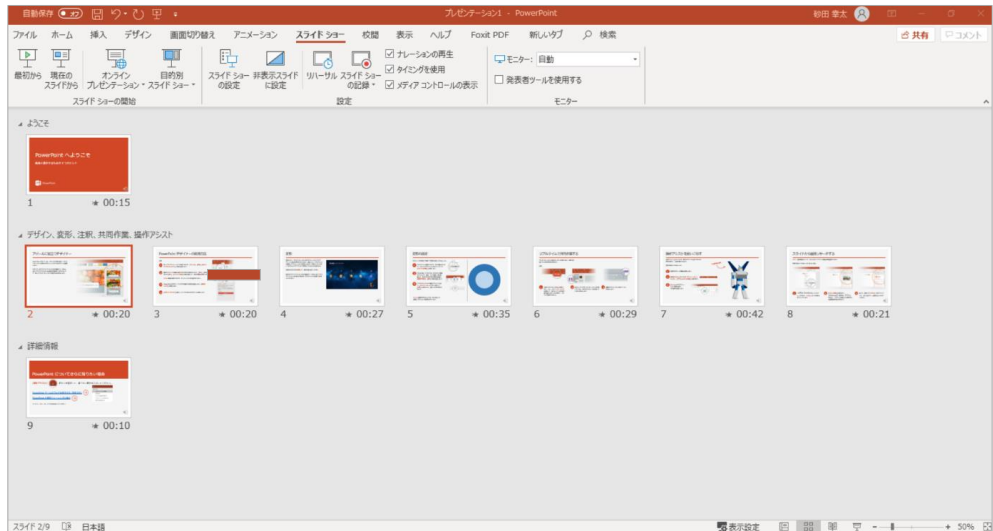
修正したいスライドから記録を始めることができます。



- 1 修正したいスライドを選択。
- 2 【スライドショーの記録】 → 【現在のスライドから記録】 を選択し、記録画面に進んでください。



記録を終了するには、停止ボタンを押してください。



PowerPointファイルを保存してください。

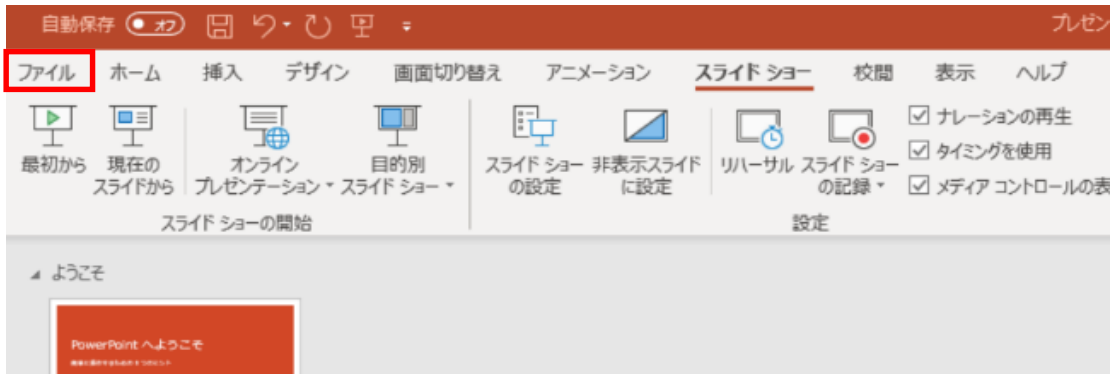
ファイル名は【演題番号\_演者名】としてください。



保存したファイル（音声付きスライド）はスライドショーにて、音声やスライドのタイミングに問題がないか確認してください。



# 変換（書き出し①）



ファイルメニューの【ファイル】 → 【エクスポート】 を選択、

**ビデオの作成**

プレゼンテーションを、ディスクへの書き込みや Web へのアップロード、電子メールでの送信ができるビデオとして保存します。

- 記録されたすべてのタイミング、ナレーション、インク ストローク、レーザー ポインターの動きが組み込まれます
- アニメーション、画面切り替え、およびメディアも保存されます

② [スライドショー ビデオの DVD への書き込みや Web へのアップロードのヘルプ](#)

HD (720 p)  
中ファイル サイズおよび中程度の品質 (1280 x 720)

記録されたタイミングとナレーションを使用する  
タイミングが設定されていないスライドでは既定の長さが使われます (以下をご覧ください)。このオプションは、インクとレーザー ポインター...

各スライドの所要時間 (秒): 05.00

**ビデオの作成**

プレゼンテーションを、ディスクへの書き込みや Web へのアップロード、電子メールでの送信ができるビデオとして保存します。

- 記録されたすべてのタイミング、ナレーション、インク ストローク、レーザー ポインターの動きが組み込まれます
- アニメーション、画面切り替え、およびメディアも保存されます

② [スライドショー ビデオの DVD への書き込みや Web へのアップロードのヘルプ](#)

HD (720 p)  
中ファイル サイズおよび中程度の品質 (1280 x 720)

記録されたタイミングとナレーションを使用する  
タイミングが設定されていないスライドでは既定の長さが使われます (以下をご覧ください)。このオプションは、インクとレーザー ポインター...

各スライドの所要時間 (秒): 05.00

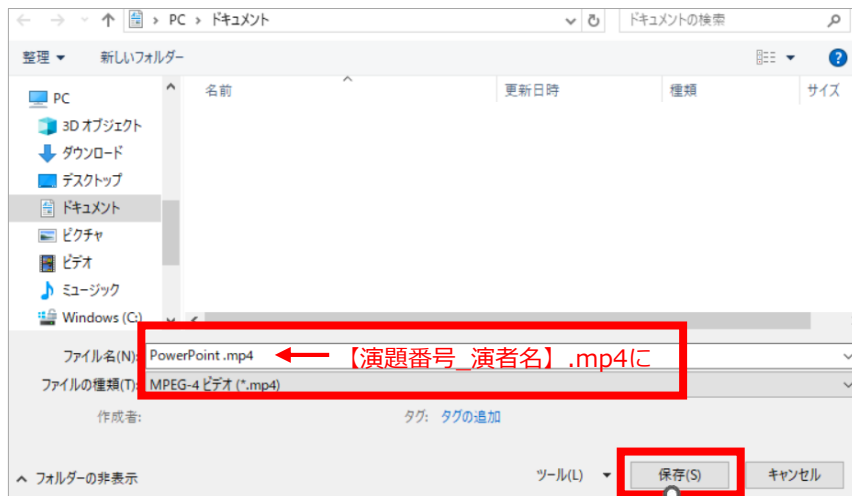
**【HD (720P)】**  
**【記録されたタイミングとナレーションを使用する】**  
になっている事を確認してください。  
表記が違う場合は、項目横の▼で該当項目を選んでください。

【エクスポート】 → 【ビデオの作成】 を選択してください。

⚠ のビデオ設定を確認。

確認後、左下にある【ビデオの作成】 ボタンをクリックしてください。

## 変換（書き出し②）



ファイルを任意の場所に保存します。

【ファイル名】は **【演題番号\_演者名】** としてください。

【ファイルの種類】が **【MPEG4ビデオ (.mp4)】** になっていることをご確認ください。

間違いなければ **【保存】** をクリック



**【保存】** をクリックするとPowerPointのウインドウ下部に作成中のバーが現れますので終了するまでお待ち下さい。



動画登録アップロード時の上限サイズが**1GB**ですので

ファイルサイズは**1GB**以下にしてください。

完成した動画は、音声やスライドのタイミングが問題ないか、再生ができるか等 必ずご確認ください。

# 演題動画作成マニュアル

PowerPoint 2013

PowerPoint 2010

ナレーション動画の作成は以下の手順です。

記録

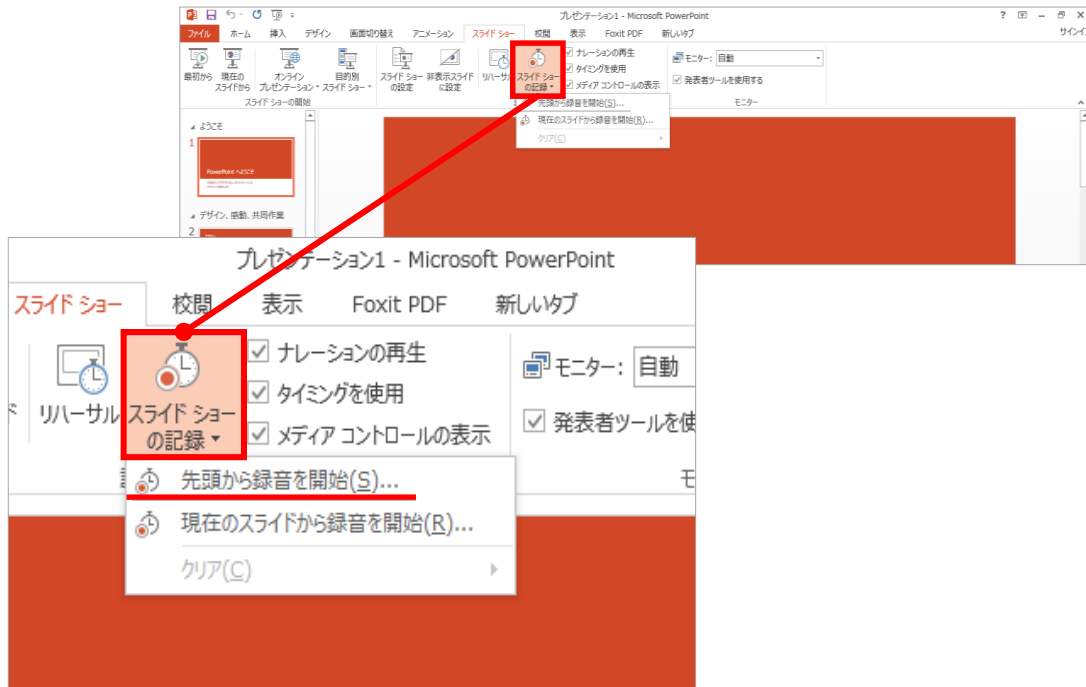


保存



変換  
(書き出し)

# 記録（開始①）

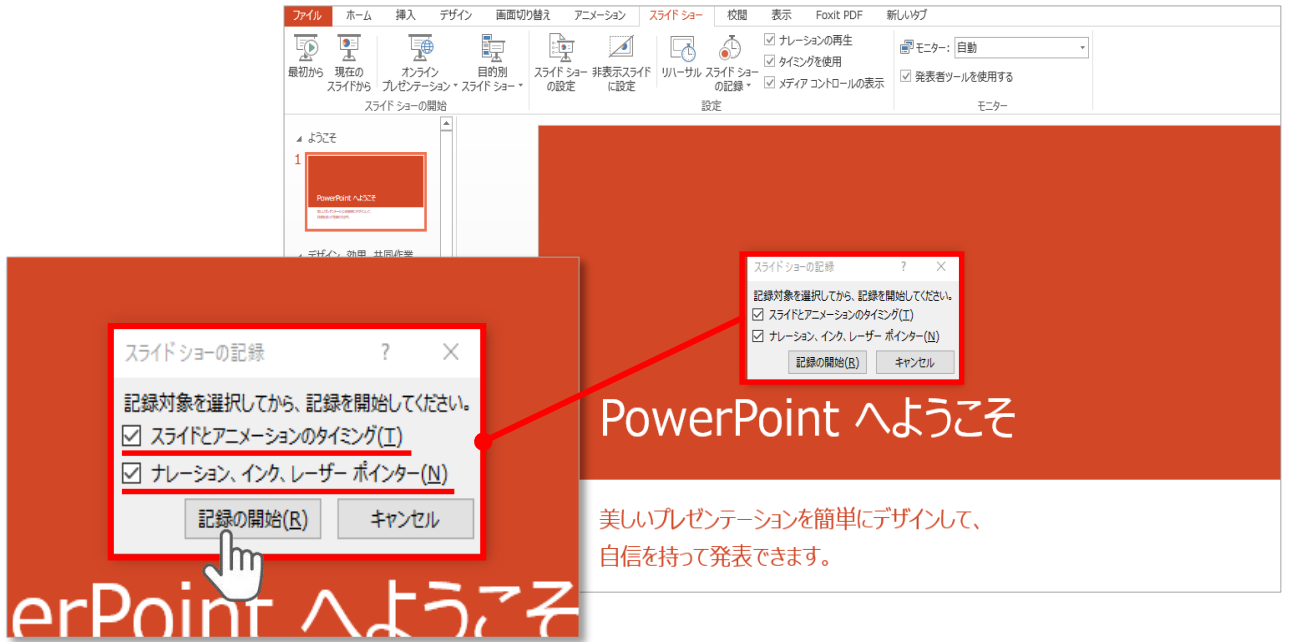


- ① リボンの【スライドショー】 → 【スライドショーの記録】 をクリック
- ② 【先頭から記録】 を選択したら**記録画面**に進んでください。



【先頭から録画】 をクリックすると、録画スタンバイになります。

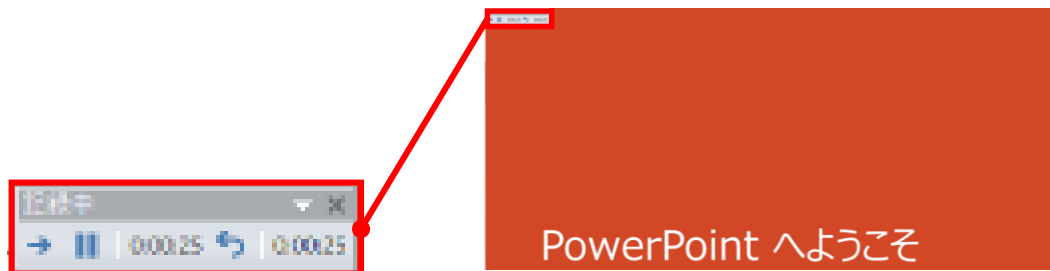
## 記録（開始②）



【スライドショーとアニメーションのタイミング】

【ナレーションとレーザーポインター】

にチェックが入っていることを確認し、【記録の開始】をクリックしてください。



録音中は、スライド左上に【記録中】と表記されます。  
記録中となっている事を確認してください。



マウスカーソルは、記録されません。【Ctrl+L】を押して  
【レーザーポインターモード】をご使用ください。

レーザーポインターではスライド送り、動画のクリックはできません。



PowerPointファイルを保存してください。

ファイル名は【**演題番号\_演者名**】としてください。

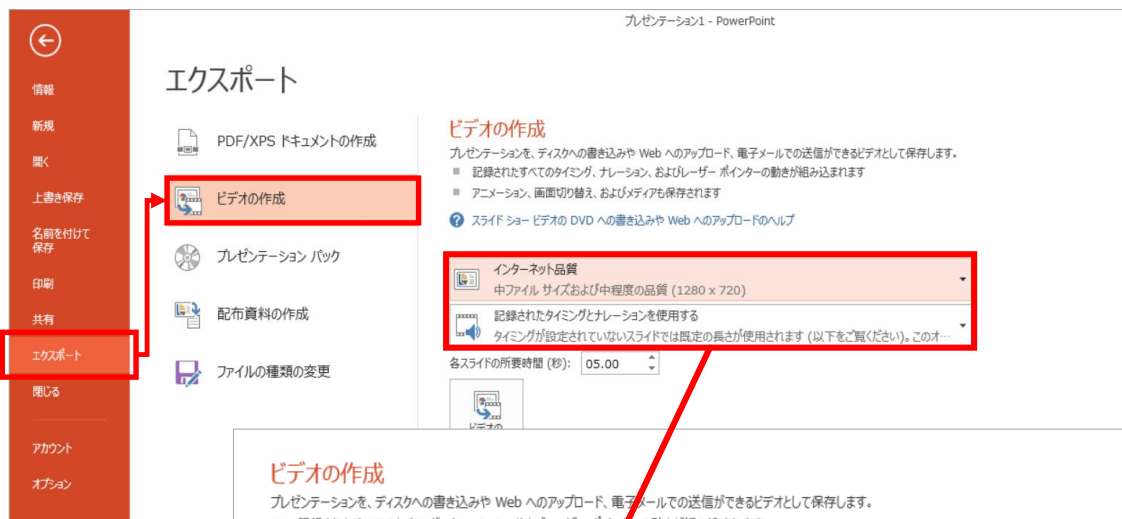


保存したファイル（音声付きスライド）は**スライドショー**にて、音声やスライドのタイミングに問題がないか確認してください。

## PowerPoint 2013での変換



ファイルメニューの【ファイル】 → 【エクスポート】を選択、



**ビデオの作成**

プレゼンテーションを、ディスクへの書き込みや Web へのアップロード、電子メールでの送信ができるビデオとして保存します。

- 記録されたすべてのタイミング、ナレーション、およびレーザー ポインターの動きが組み込まれます
- アニメーション、画面切り替え、およびメディアも保存されます

？ スライドショー ビデオの DVD への書き込みや Web へのアップロードのヘルプ

インターネット品質  
中ファイル サイズおよび中程度の品質 (1280 x 720)

記録されたタイミングとナレーションを使用する  
タイミングが設定されていないスライドでは既定の長さが使用されます (以下をご覧ください)。このオ...

各スライドの所要時間 (秒): 05.00

ビデオの作成

【インターネット品質】  
【記録されたタイミングとナレーションを使用する】  
になっている事を確認してください。  
表記が違う場合は、項目横の▼で該当項目を選んでください。

【エクスポート】 → 【ビデオの作成】を選択してください。

❗ のビデオ設定を確認。

確認後、左下にある【ビデオの作成】ボタンをクリックしてください。



## PowerPoint 2010での変換

The screenshot shows the Microsoft PowerPoint 2010 interface. The 'ファイル' (File) menu is open, and the '保存と送信' (Save and Send) option is selected. The 'ビデオの作成' (Create Video) option is highlighted in the 'ファイルの種類' (File Type) section. A red box highlights the 'ビデオの作成' option in the 'ファイルの種類' section. Another red box highlights the 'ビデオの作成' settings in the main window, showing the output device set to 'コンピューターおよび HD モニター' and the option to '記録されたタイミングとナレーションを使用する' (Use recorded timing and narration) selected. A third red box highlights the same settings in a larger, zoomed-in view. A red arrow points from the 'ビデオの作成' button in the zoomed-in view to the 'ビデオの作成' button in the main window. A red exclamation mark icon is placed next to the zoomed-in view.

このプレゼンテーションから完全な再現性が維持されたビデオを作成し、CD や Web、または電子メールを使用して配布することができます。

- 記録されたすべてのタイミング、ナレーション、およびレーザー ポインターの動きが組み込まれます
- スライドショーで非表示に設定されていないすべてのスライドが含まれます
- アニメーション、画面切り替え、およびメディアも保存されます

ビデオの作成にかかる時間は、プレゼンテーションの長さや複雑さによって異なります。ビデオの作成中も、PowerPoint での作業を続けることができます。

スライドショー ビデオの DVD への書き込みおよび Web へアップロードのためのヘルプ

コンピューターおよび HD モニター  
コンピューターのモニター、プロジェクター、またはハイビジョン表示用 (大 - 960 x 720)

記録されたタイミングとナレーションを使用する  
タイミングが設定されていないスライドでは、以下の既定の時間設定が使用されます。記録されたレーザー ポ...

各スライドの所要時間 (秒): 05.00

ビデオの作成

【コンピューターおよび HDモニター】  
【記録されたタイミングとナレーションを使用する】  
になっている事を確認してください。  
表記が違う場合は、項目横の▼で該当項目を選んでください。

ファイルメニューの【ファイル】 → 【保存を送信】を選択、  
【エクスポート】 → 【ビデオの作成】を選択してください。

❗ のビデオ設定を確認。

確認後、左下にある【ビデオの作成】ボタンをクリックしてください。

## 変換 (書き出し②)

動画ファイルを任意の場所に保存します。

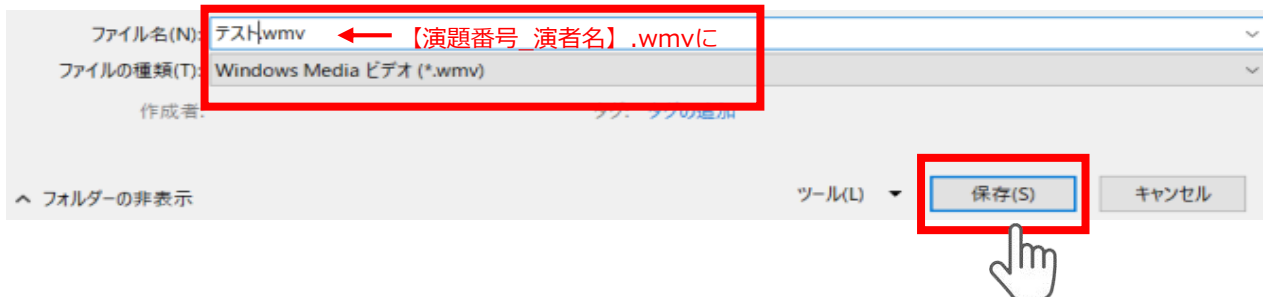
【ファイル名】は【演題番号\_演者名】としてください。

### PowerPoint 2013



ファイルの種類を**MPEG-4 ビデオ**にして保存してください。  
拡張子が【.mp4】になっていることをご確認ください。

### PowerPoint 2010



ファイルの種類を**Windows Mediaビデオ**にして保存してください。  
拡張子が【.wmv】になっていることをご確認ください。



【保存】をクリックするとPowerPointのウィンドウ下部に作成中のバーが現れますので終了するまでお待ち下さい。



動画登録アップロード時の上限サイズが**1GB**ですので

ファイルサイズは**1GB**以下にしてください。

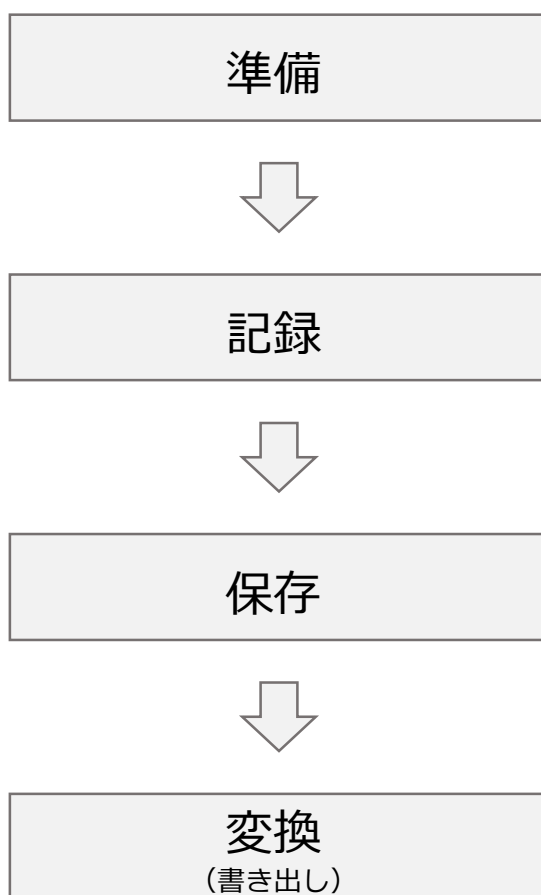
完成した動画は、音声やスライドのタイミングが問題ないか、再生ができるか等 必ずご確認ください。

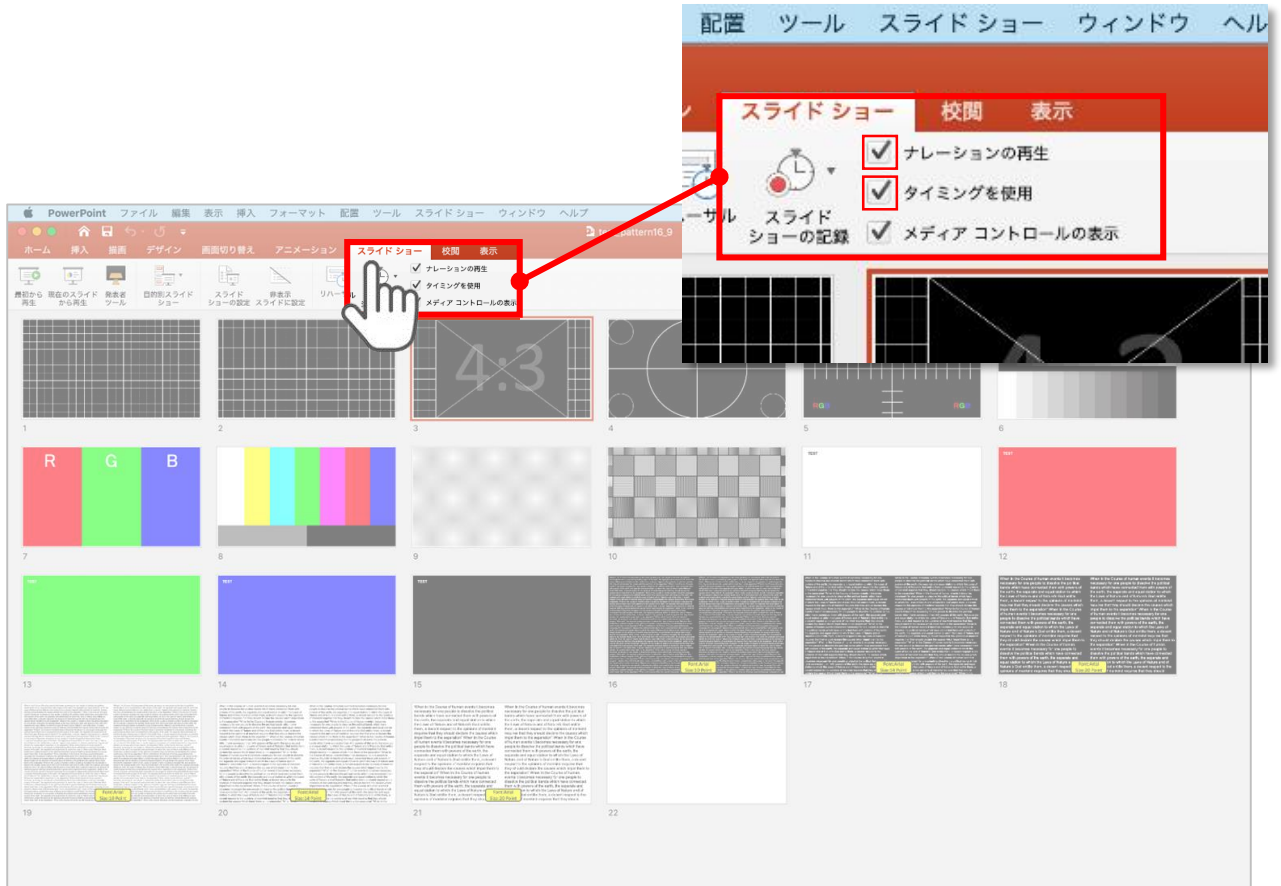
# 演題動画作成マニュアル

## PowerPoint Mac

- ・ PowerPoint 2016 for Macは、動画変換・保存をサポートしていません。  
2016 for Macをご利用の場合は、Keynoteで開いて動画変換いただくか  
その他のバージョンのPowerPoint（2011、2019又はOffice365）で変換作業ください。
- ・ マウスカーソル・レーザーポインターモードはご使用できません。

ナレーション動画の作成は以下の手順です。





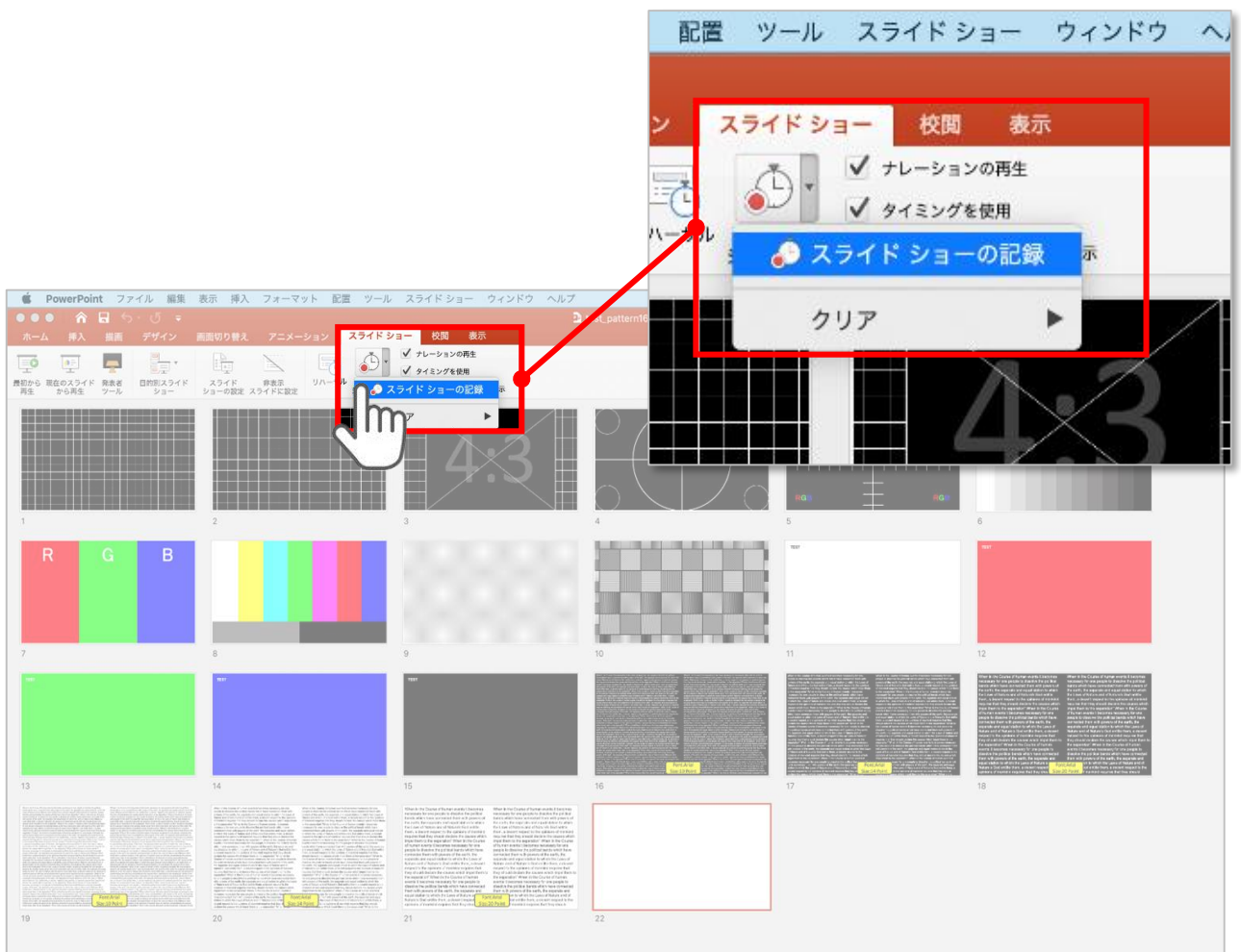
リボンの【スライドショー】タブをクリックしてください。

**【ナレーションの再生】**

**【タイミングの使用】**

にチェックが入っていることを確認してください

# 記録（開始）



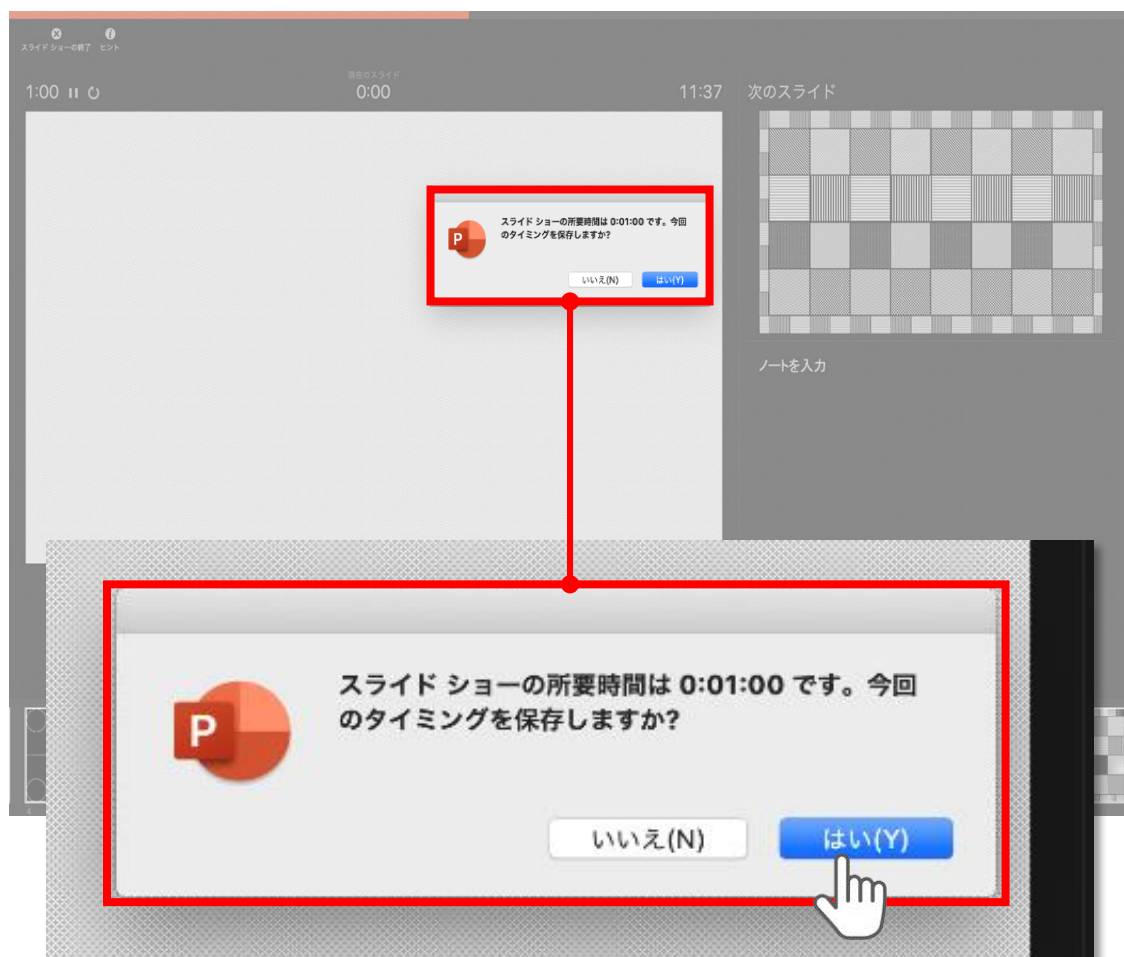
【スライドショーの記録】を選択して



**ナレーションの録音、スライドの記録**を開始してください



選択されたスライドから記録が開始されます。  
最初のスライドを選択した状態で記録の開始を行ってください。

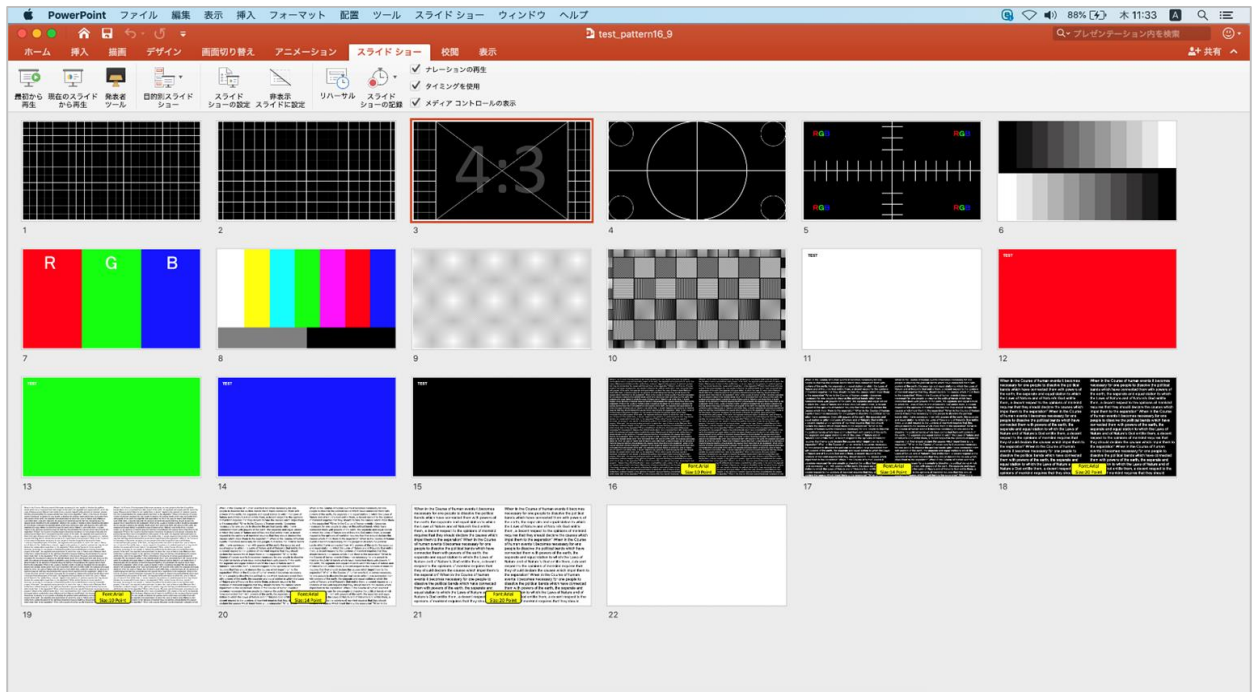


スライドショーを終了すると

**【タイミングを保存しますか？】**のポップアップが表示されますので  
**【はい】** をクリックして保存してください。



やり直したい場合は **【いいえ】** をクリックして  
4ページからやり直してください。



タイミングの保存が完了すると記録前の画面に戻ります。

記録が終了したら  
PowerPointファイルを保存してください。

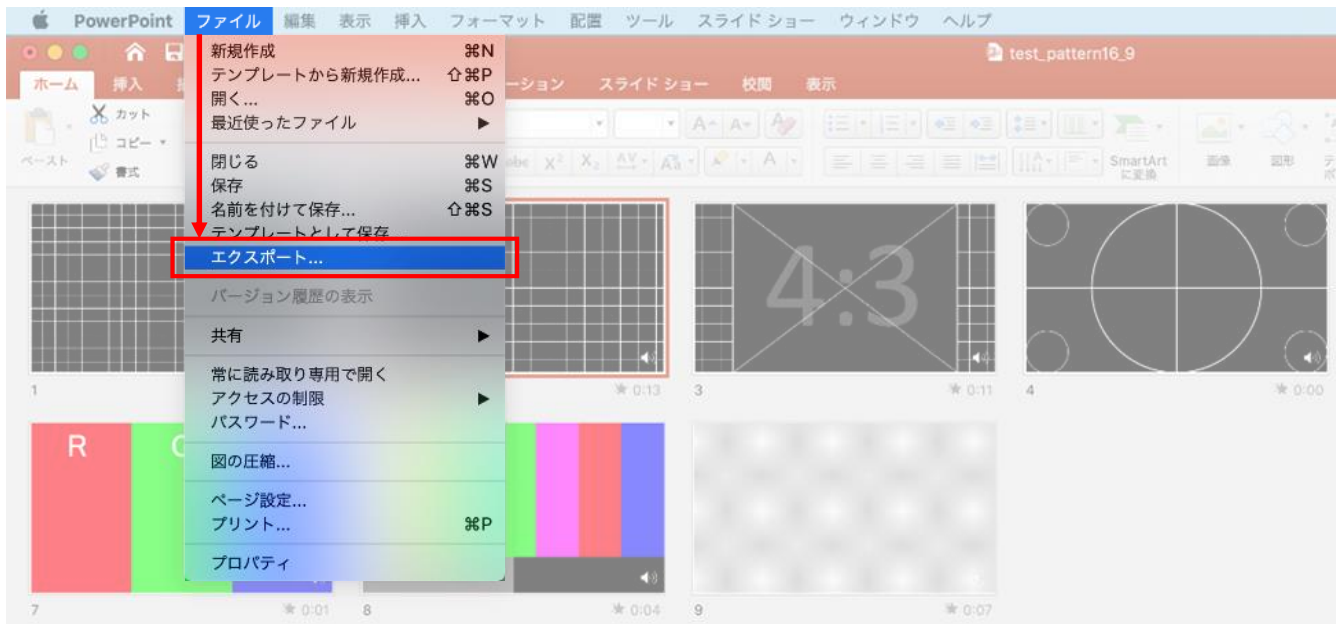
ファイル名は【**演題番号\_演者名**】としてください。



保存したファイル（音声付きスライド）は**スライドショー**にて、  
音声やスライドのタイミングに問題がないか確認してください。



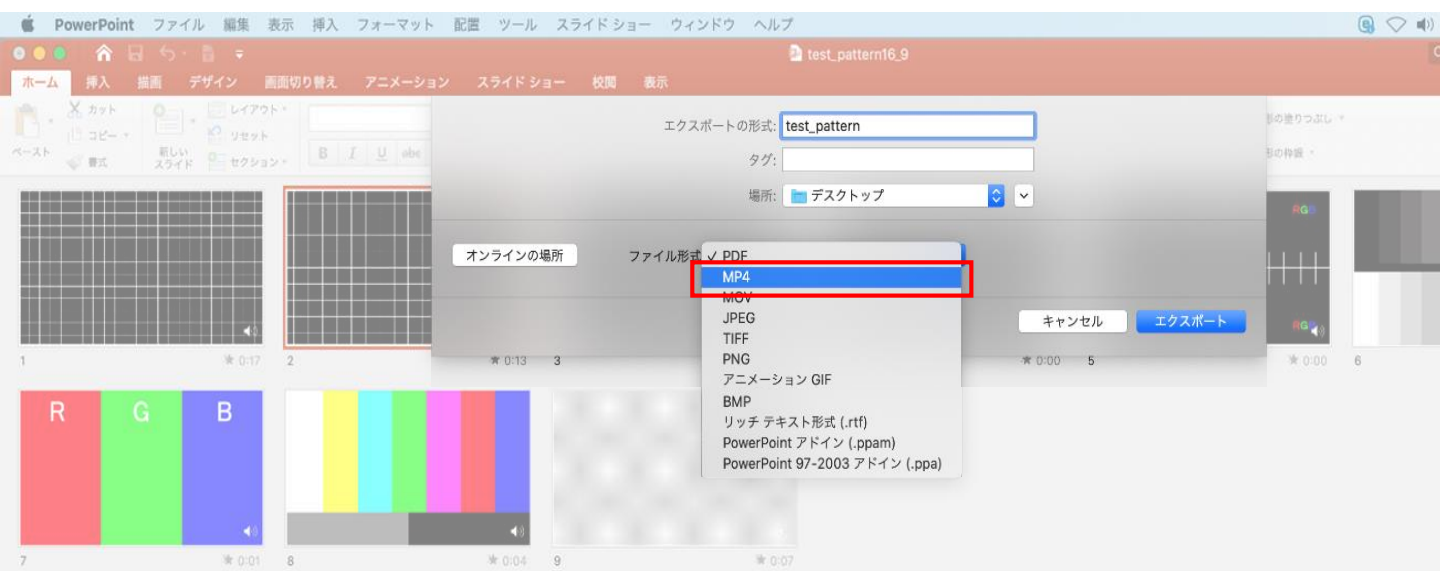
## 変換（書き出し①）



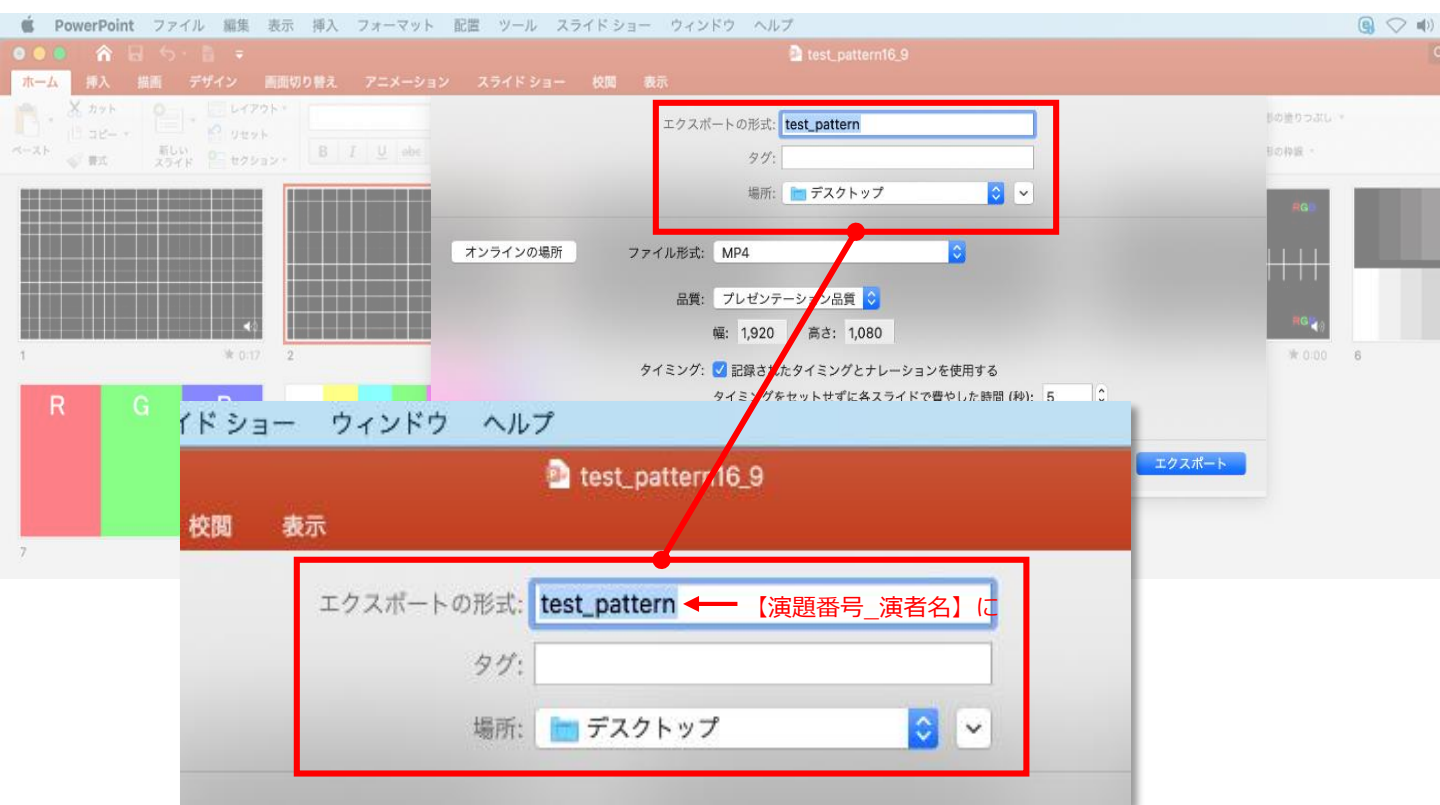
ファイルメニューの

**【ファイル】** → **【エクスポート】** を選択してください。

## 変換（書き出し②）

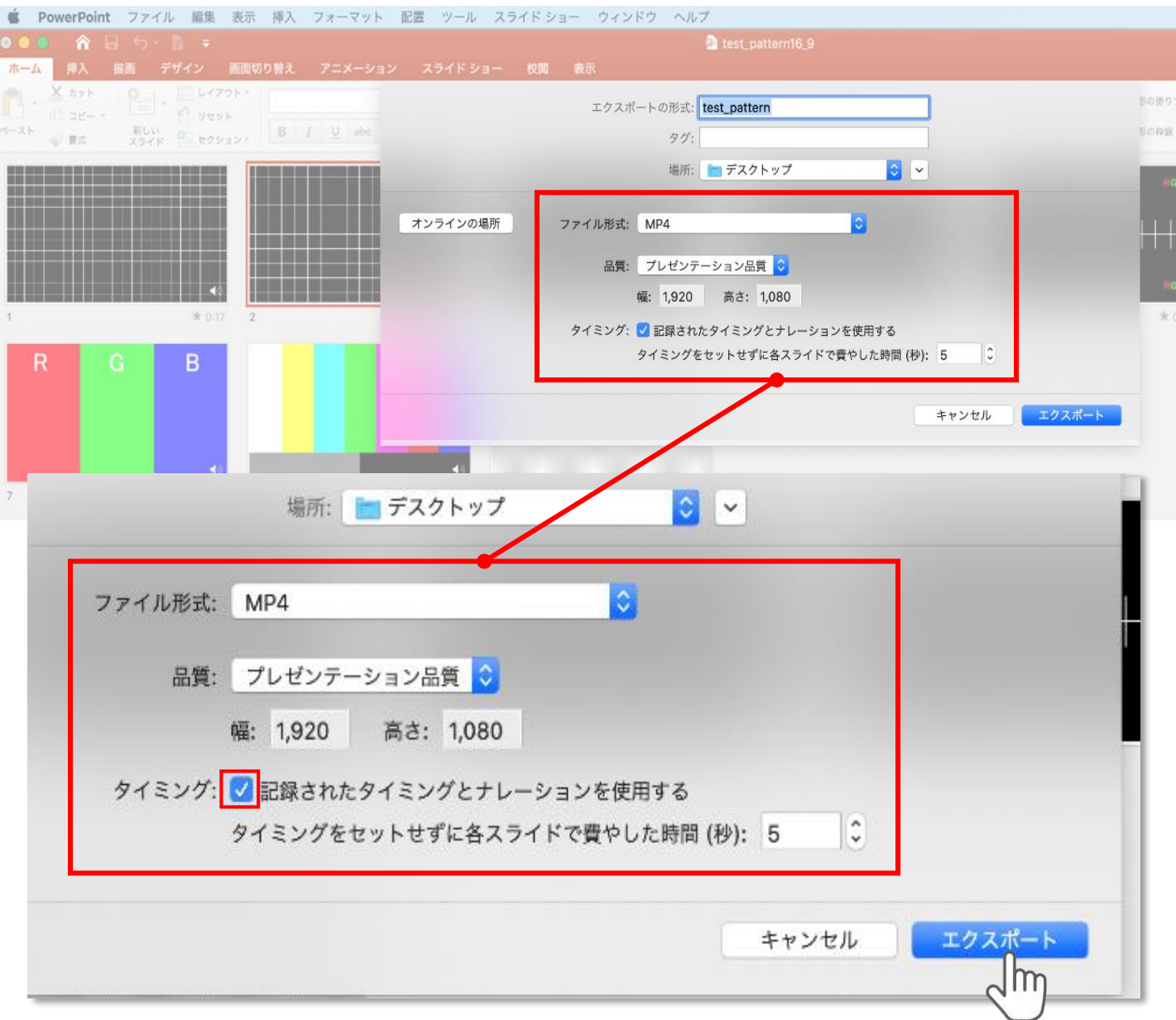


上から下りてくるウィンドウの  
【ファイル形式】を【MP4】に設定してください。



【エクスポートの形式】を【演題番号\_演者名】としてください。  
【場所】は任意の場所で構いません。

## 変換（書き出し③）



【品質】は【インターネット品質】を選択。

【記録されたタイミングとナレーションを使用する】にチェックが入っていることを確認してください。

設定が完了したら【エクスポート】をクリックして完了です。



動画登録アップロード時の上限サイズが**1GB**ですので  
ファイルサイズは**1GB**以下にしてください。

完成した動画は、音声やスライドのタイミングが問題ないか、  
再生ができるか等 必ずご確認ください。

# 演題動画作成マニュアル

## Keynote

- ・ Keynoteではマウスカーソル・レーザーポインターモードはご使用できません。

ナレーション動画の作成は以下の手順です。

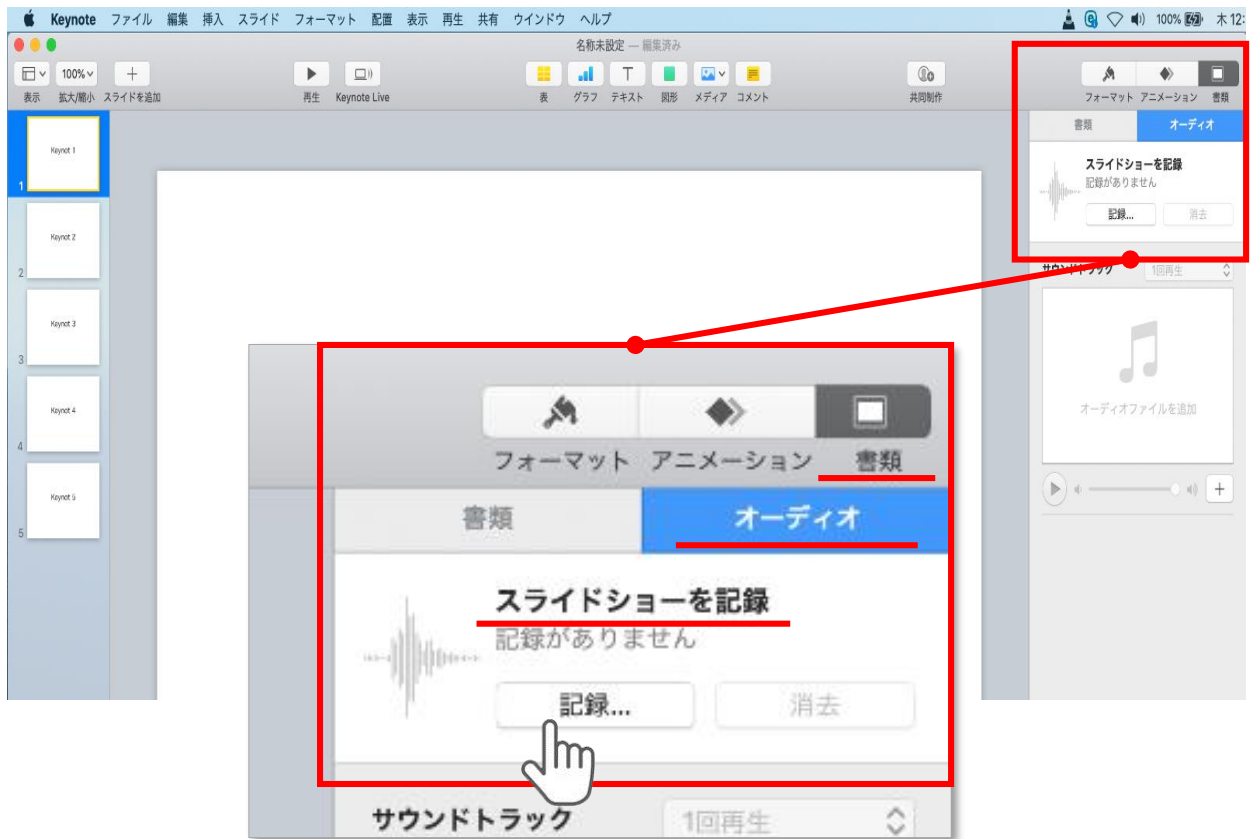
記録



保存



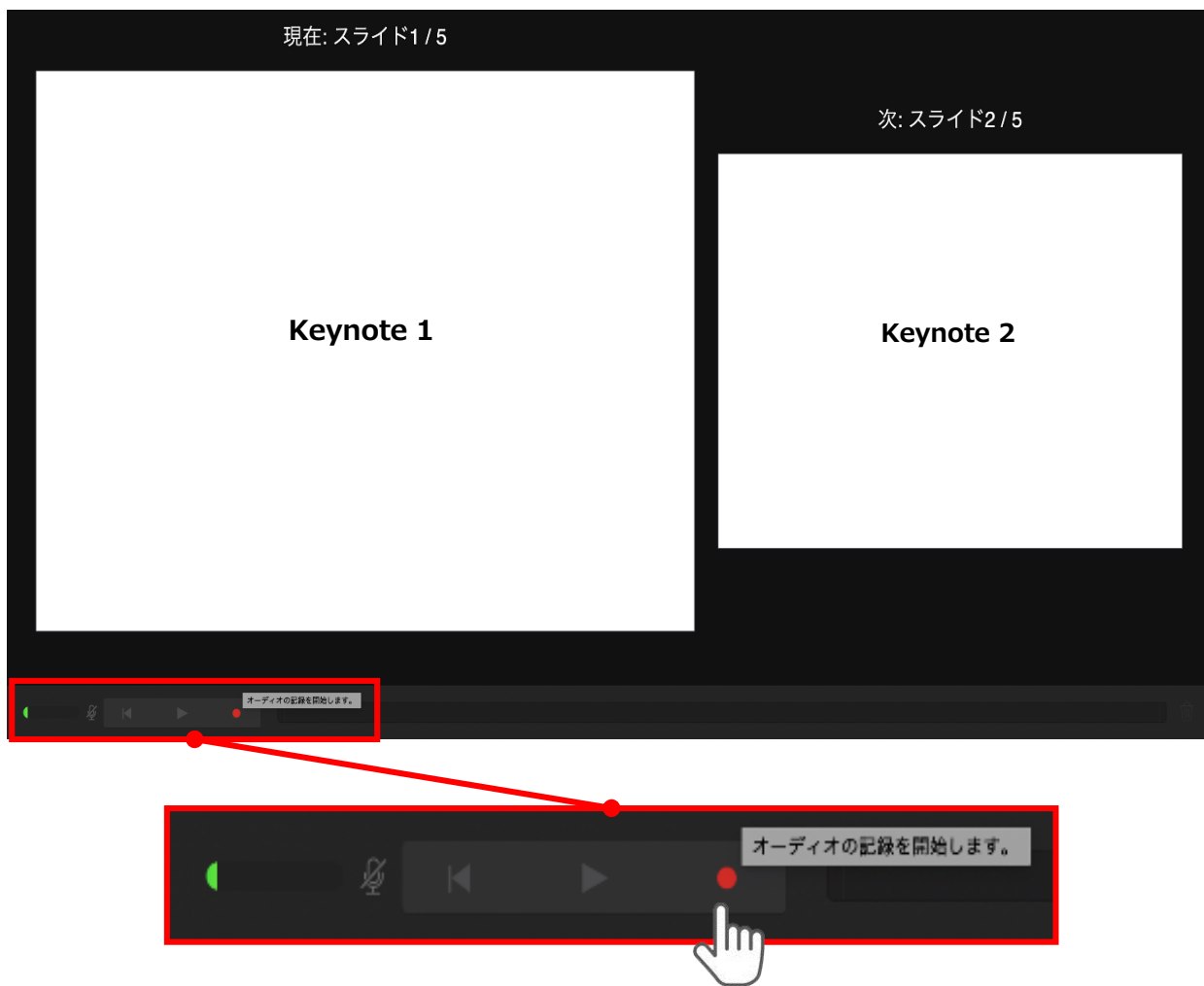
変換  
(書き出し)



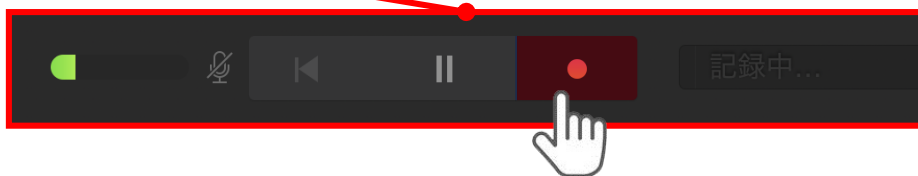
ウィンドウ右上部の【書類】ボタンをクリック。

【オーディオ】を選択し、

スライドショーを記録の【記録】ボタンをクリックすると録音画面に切り替ります。



ウインドウ下部の  **(Rec)** ボタンを押して録音を開始してください。



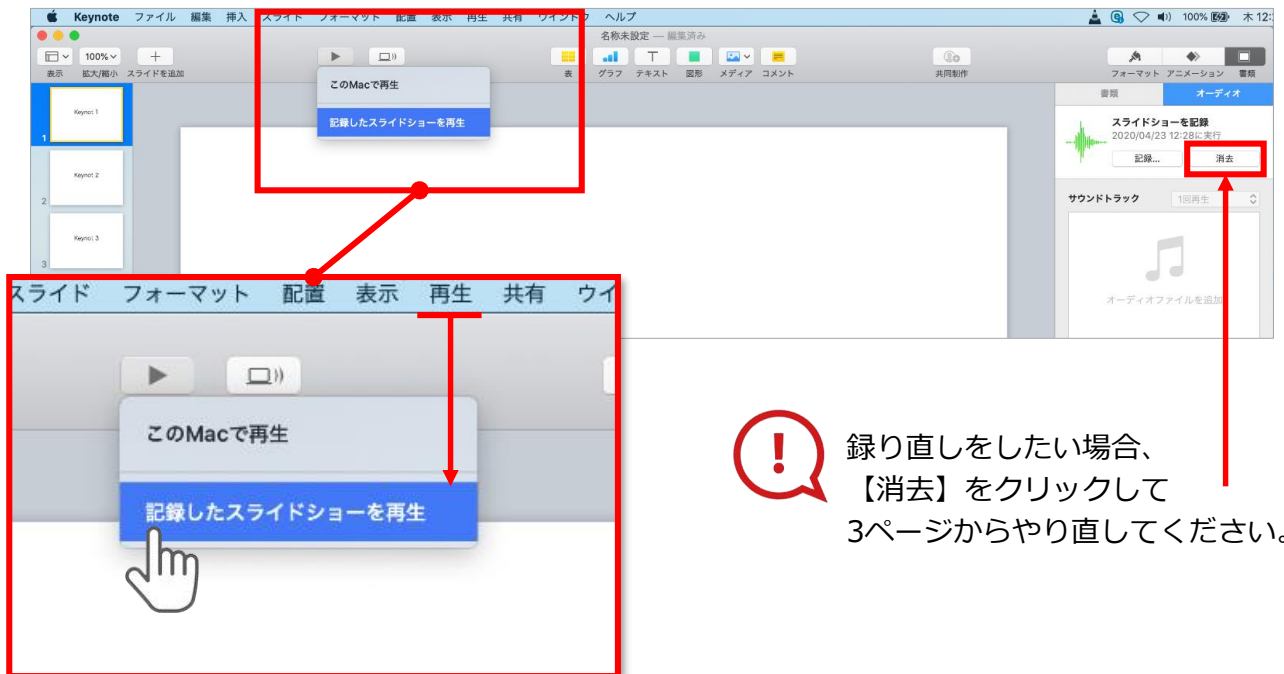
もう一度  (Rec) ボタンを押すと  
録音が停止されます。



# 保存

記録が終了したら  
Keynoteを保存してください。

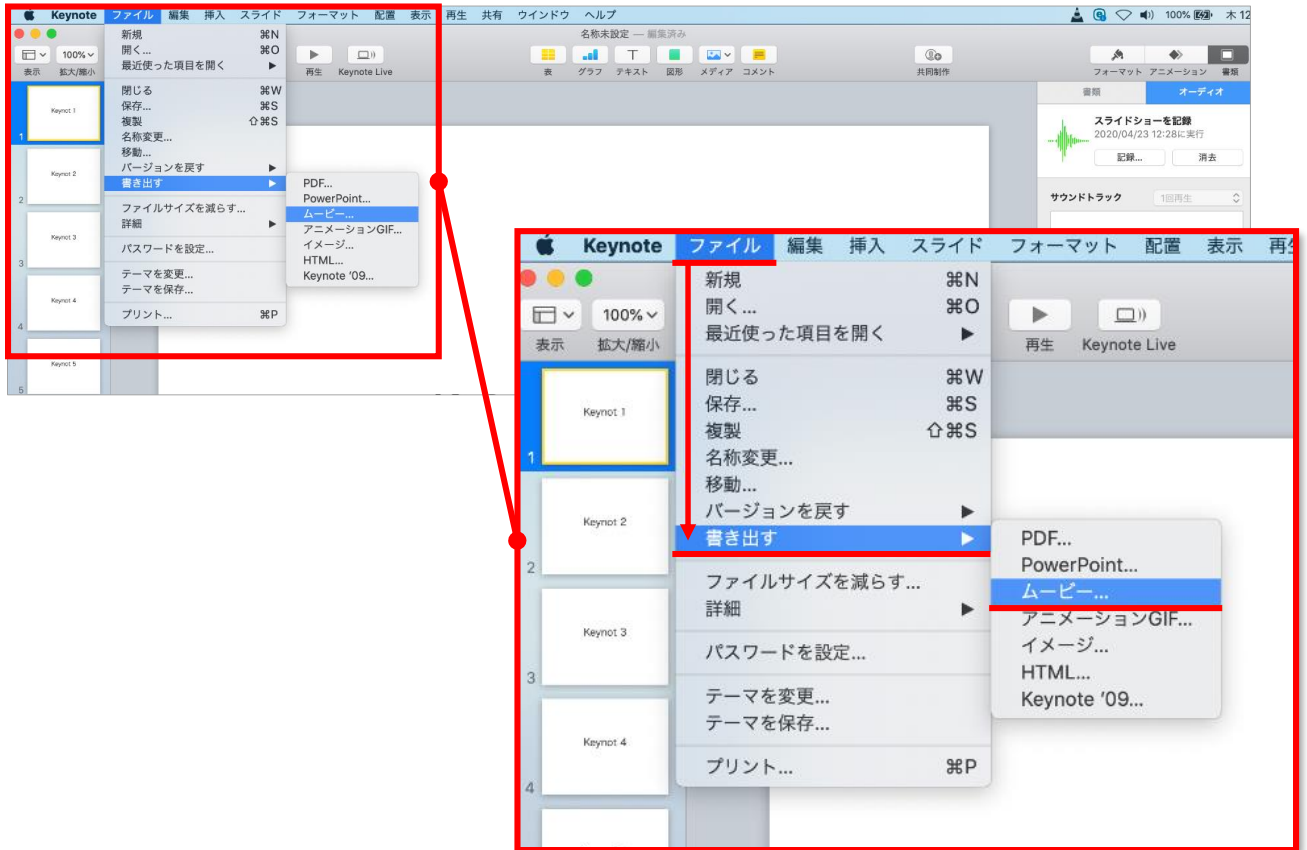
ファイル名は【**演題番号\_演者名**】としてください。



保存したKeynote（音声付き）を開き

メニューの【**再生**】 → 【**記録したスライドショーを再生**】をクリックし、  
音声やスライドのタイミングに問題がないか確認してください。

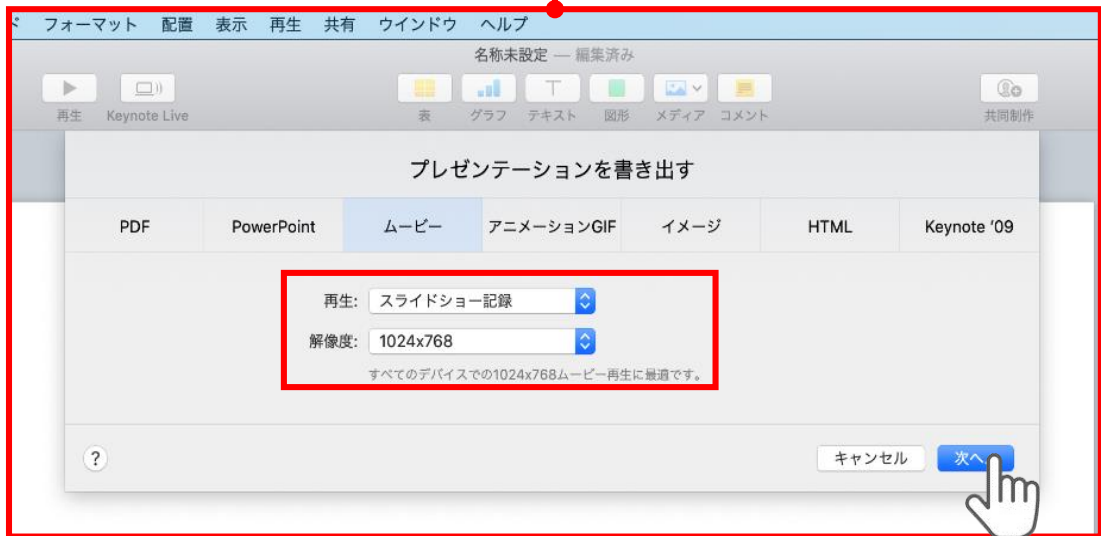
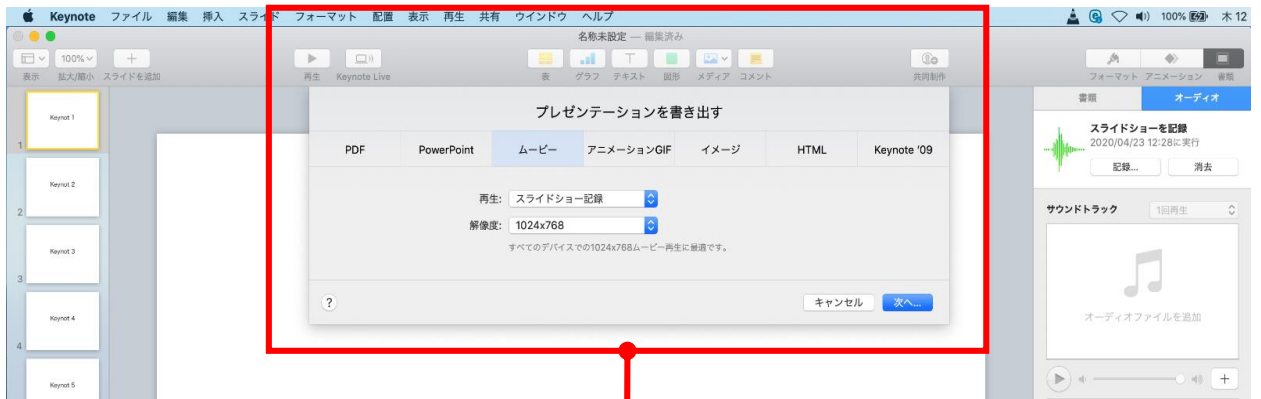
# 変換（書き出し①）



ファイルメニューの

**【ファイル】** → **【書き出す】** → **【ムービー】** を選択してください。

## 変換（書き出し②）



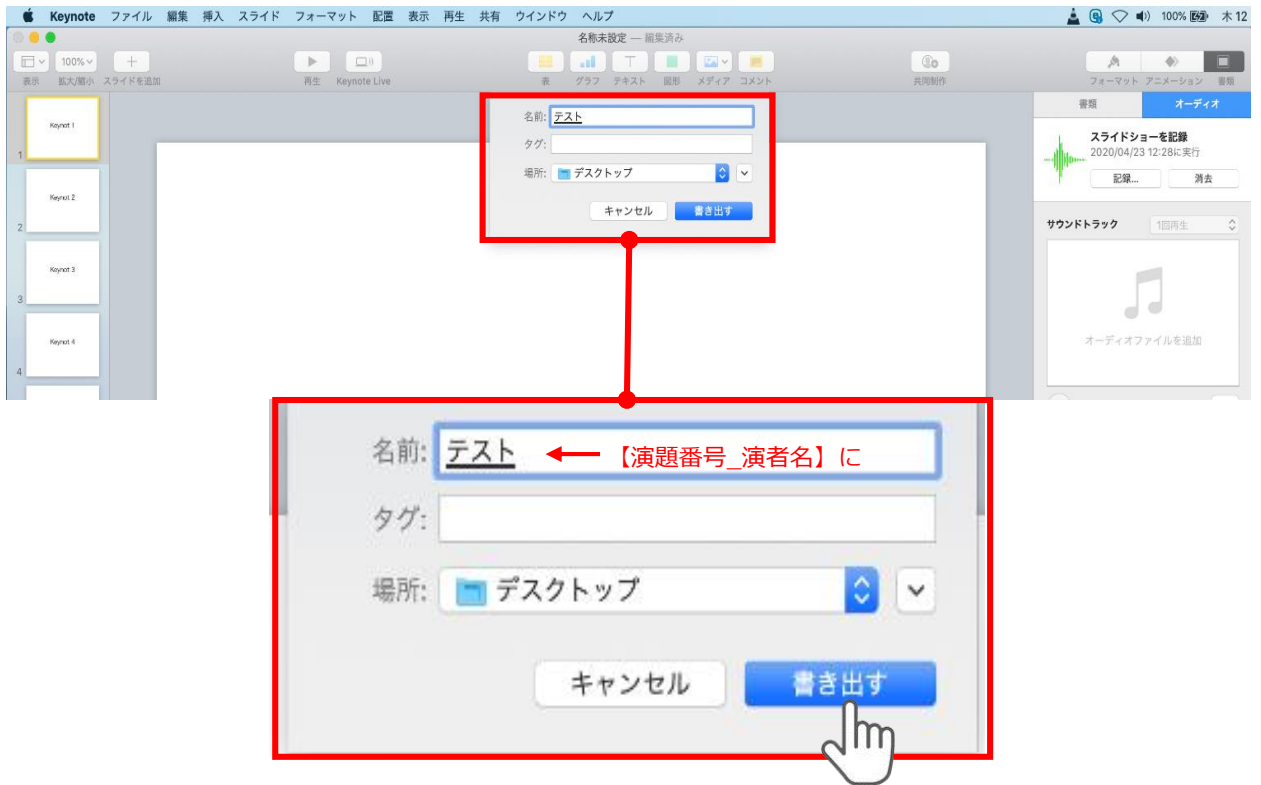
再生：【スライドショーの記録】

解像度：4:3の場合【1024×768】

16:9（ワイドスクリーン）の場合【720P】

を選択し、【次へ】をクリックしてください。

## 変換（書き出し③）



ファイルを任意の場所に書き出してください。  
名前：【演題番号\_演者名】としてください。



ムービーの作成が終了するまでお待ちください



動画登録アップロード時の上限サイズが**1GB**ですので  
ファイルサイズは**1GB**以下にしてください。

完成した動画は、音声やスライドのタイミングが問題ないか、  
再生ができるか等 必ずご確認ください。